

障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

○概 評

①非該当とした項目の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

①●就労支援事業所の固有のサービスは、杉山寮としては実施しておらず、非該当としました。

②

③●マニュアル関連について。まだまだ発展途上とは思ふものの、取り組みを行ったことで足掛かりを作ることができたと感じた。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
マニュアルの書式化がされていない。また、マニュアルの様式の管理場所が不明確になりやすく、確認が	ICT(電子記録のシステム)の導入について令和8年度中に導入の方向で検討されている。	継続	令和7年4月から令和9年3月まで
①接し方	令和7年度全体会議を通して、一旦まとめることができた。内容については、まだまだ不十分との評価を受けている。具体的な取り組みや禁句を明言するなどの動きを求められている。	継続	令和7年4月から令和8年7月まで
②禁句			
③選挙	特に話し合われなかった。	継続	令和7年4月から令和9年3月まで
④健康管理	マニュアル作成に取り組めなかった。	継続	令和7年4月から令和9年3月まで
⑤排泄	汚物をごみ集積所に持っていくタイミングについて、一定の取り決めをすることができた。排泄物を一時置きしているバケツの片づけのタイミングについては取り決められなかった。	継続	令和7年4月から令和9年3月まで
食事を適温で提供しにくい	温冷庫の導入については、現時点では難しいとの結論が出る。受診などで食事開始が遅れる利用者について、直前に食事をレンジで温める取り組みを行った。	終了	令和7年4月から令和8年1月まで
利用者の趣向調査の頻度が乏しかったり会議への参加機会がなかったりする	特に話し合われなかった。	継続	令和7年4月から令和9年3月まで
利用者の特性の影響もあるが、調味料・香辛料の用意ができない	1月毎に1回、選択メニューを取り入れた。	終了	令和7年4月から令和8年2月まで
当日の予定を文字で伝えようとしていることが多い	具体的な取り組みはなされなかったが、伝達について大きく混乱を招くことはなかった。	終了	令和7年4月から令和8年2月まで
外出時のルールが不明瞭	生活棟会議を通し、外出の頻度や内容について文字化を行い、職員間で確認を行った。	終了	令和7年4月から令和8年2月まで

サービス改善計画書

策定日：令和8年1月末日

事業・サービス名：障害者支援施設

施設・事業所名：社会福祉法人すぎやまの家
杉山寮

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
		マニュアルの書式化がされていない。また、マニュアルの様式の管理場所が不明確になりやすく、確認がしにくい。	対応方法をマニュアルとして文書化する。また、ICT導入を検討し、導入後は文書の管理を明確に行う。	1年	全職員	
1-1-2-1	B	①接し方	7年度に作成したマニュアルをより具体的にブラッシュアップする。	1年	全職員	
1-1-2-3	B	②禁句				
1-1-3-1	B	③選挙	選挙へ向けて、広報などを提示する機会を設ける。	1年	管理職員	
4-7-1-1	A	④健康管理	利用者の体調管理について服薬マニュアルや既往歴についてまとめる	1年	看護師 生活支援員	
4-3-1-1	B	⑤排泄	排泄物を一時置きしているバケツの片づけのタイミングについて取り決められていないため、タイミングを具体化する。	6か月	生活支援員	
4-1-2-2	A	利用者の趣向調査の頻度が乏しかったり会議への参加機会がなかったりする	会議に利用者参加をしてもらい、食事についての意見を聞き取る	6か月	炊事職員	給食会議開催時